

RPPC メールマガジン 第 709 号

リサイクルポート推進協議会(平成 30 年 1 月 17 日発行)

■先週・今週の報道発表

先週・今週の報道発表は特にありません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

- 1.リサイクルポート施策の高度化研究会 第 2 回研究会開催のご案内
- 2.NPO 法人山形県リサイクルポート情報センターのメルマガを添付いたしました。

■リサイクルポートに関する最新の情報

1. 千葉県、地港審千葉港幹事部会開催。港湾計画素案を提示
- 2.名古屋港飛島ふ頭東岸壁再編中。金城ふ頭は南地区新設
3. 志布志港バルク戦略港湾、ケーソン製作手続開始

=====

◇RPPC 事務局からのお知らせ

第 2 回リサイクルポート施策の高度化研究会を開催いたします。

日時:平成 30 年 2 月 2 日(金)17:00~19:00

会場:フクラシア丸の内オアゾ Hall B

※詳細は添付資料をご確認下さい。

参加者は、会場の収容人数の都合により、ここでの申込はリサイクルポート指定港の港湾管理者及び地元自治体の方に限らせていただきます。

なお、研究会資料は各部会・PT 開催時に配布を予定しています。

=====

◇リサイクルポートに関する最新の情報

1. 千葉県、地港審千葉港幹事部会開催。港湾計画素案を提示
千葉県は昨年 12 月、地方港湾審議会千葉港幹事部会を開催し千葉港港

湾計画の素案を提示した。今年5月頃に地方港湾審議会を開催し港湾計画案を審議する。

素案では外内貿コンテナ船の大型化やコンテナ貨物量の増加に対応するため、千葉中央地区において岸壁の増深・延長及びコンテナヤードの拡張を計画。水深14m岸壁1バース（既定計画の変更）、水深12m岸壁1バース（既設の変更計画）を位置付けている。また完成自動車取り扱いとして、PCC船の大型化に対応し千葉中央地区に水深12m岸壁等を位置付けた（既設の変更）。このほかバルクに関する計画として老朽化・低利用岸壁等について、千葉中央地区でバルク船用岸壁の集約や配置変更を行う内容になっている。

.....

2.名古屋港飛島ふ頭東岸壁再編中。金城ふ頭は南地区新設

中部地方整備局名古屋港湾事務所は名古屋港飛島ふ頭東、並びに金城ふ頭において、岸壁の再編改良事業を進めている。老朽化した既存ふ頭を増深・改良して名古屋港に要請されている大型コンテナ船や自動車運搬船の受入機能を強化し、中部圏を中心とした産業の国際競争力を支援していく。

名古屋港飛島ふ頭東側ターミナルの再編事業は、老朽化が進んでいる既設の水深12m岸壁を大型コンテナ船の接岸が可能な水深15m延長700m（350m岸壁2バース）に改良し、耐震化も行う。

現在は水深15m化にあたって既設の土留め護岸では強度が不足するため、鋼管矢板構造による新たな土留め護岸の築造を実施している。30年度以降も、引き続き土留め護岸工事を継続・追加し、再編となる1バースの350m区間まで終えた後、岸壁本体の築造に入っていく。同ふ頭はコンテナターミナルとして稠密な利用がされていることから、最初の1バースが整い次第、ふ頭利用をシフトするなどして工期を短縮しつつ改良事業を進める。一方、金城ふ頭の再編事業は同ふ頭の西側地区において進めて来た直轄事業は今年度に完了する予定になっており、今後は金城ふ頭南側地区の再編事業に着手していく。

金城ふ頭南側は現在、名古屋港管理組合が名古屋市の条例に基づいて環境アセスメント手続きを進めており、30年度上期には公有水面の埋立手続きに入ることになっている。名古屋港湾事務所では同手続きを待って、30年度に水深12m岸壁延長260mの整備に着手する。

.....

3. 志布志港バルク戦略港湾、ケーソン製作手続開始

九州地方整備局志布志港湾事務所は、志布志港の国際バルク戦略港湾事業を開始する。現在、同バルクバースに用いるケーソン製作工事（1 函）の入札手続を開始している。

志布志港の国際バルク戦略港湾は港湾計画において、新若浜地区・若浜地区基部に水深 16m 岸壁延長 320m として位置付けられており、当面は水深 14m の確保に向けた取り組みを進める。パナマ運河第 2 航路の運航が始まり、大型船による輸送コスト削減が各国で進むものとみられていることから、大型バルク船の入港を可能とする港湾施設を整え、産業の国際競争力強化を支援する。

同岸壁は既設護岸の前面に重力式構造で計画しており、今回入札手続に入ったケーソン製作工事はその最初のもので、形状は長さ 20m × 幅 19・8m × 高さ 18・5m、重量 3120 t。なお、九州地方整備局では志布志港国際バルク戦略略港湾事業についての諸準備が整ったことから 1 月 13 日、着工式典を開催した。

【港湾空港タイムス 18 年 01 月 15 日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長代行：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

ツネイシカムテックス（株）

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：www.rppc.jp E-mail：rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。